

HICスリー移替え作業の進捗状況

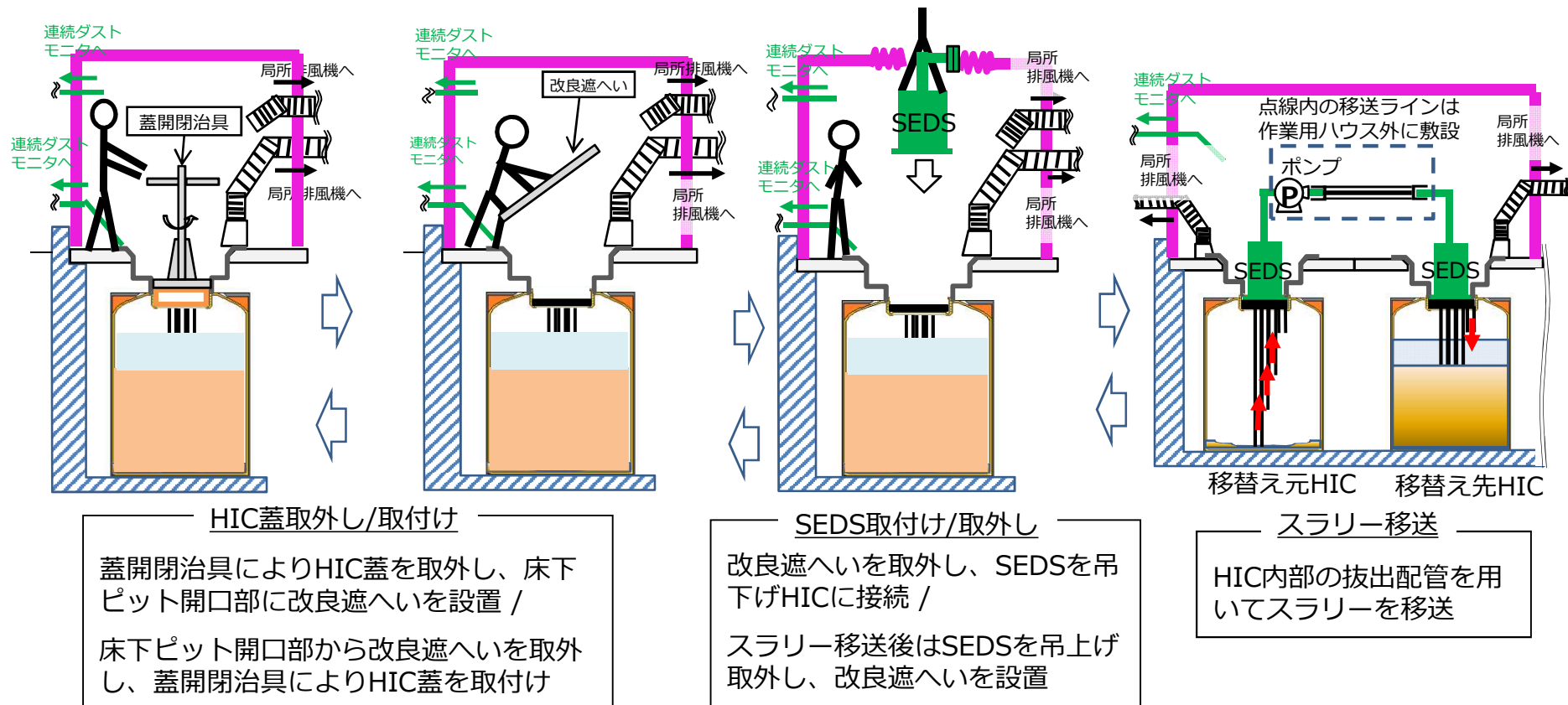
2023年3月30日



東京電力ホールディングス株式会社

HICスラリー移替えについて

- 多核種除去設備及び増設多核種除去設備での処理に伴い発生したスラリーは、高性能容器（HIC）に収容し保管
- スラリーによるβ線照射影響を受けたHICのうち、積算吸収線量5,000kGyを超えると評価されたHICについては、万一落下した場合において構造健全性が確認されていないため、万が一の漏えいリスク低減ため、スラリーの移替え計画
- 2022年1月末までに積算吸収線量5,000kGy を超えたHIC45基の移替えを2022年度内に、また、2023年度内に積算吸収線量5,000kGy を超えるHIC 102基（2022年度の45基含む）を2023年度内に移替え完了を目標（規制庁リスク低減目標）として設定
- **2023年3月23日に2022年度の目標である45基の移替えを完了**



HICスラリー移替え状況について

■ 移替え作業の状況

- これまでに一部のHIC移替え作業時にダスト濃度の上昇が確認されたものの、養生の強化や除染を実施し、管理値未満で作業を完了
- 被ばく量の管理値（ γ 線：0.8mSv/日、 β 線：5.0mSv/日）内で作業を完了
- ハウス内作業者については、作業後に内部取り込みがないことを確認

■ 今後の予定

- 引き続き、2023年度の移替え目標102基（2022年度対象の45基含む）について、安全を優先しながら実施